リレートーク #174

紹介者
和田 成史
オービックビジネスコンサルタント
取締役社長

「まだ」VS「もう」

古賀 信行
野村證券
取締役会長

相場格言に、「もうはまだなり。まだはもうなり」という言葉がある。この言葉の本来の意味は、もう底だと思えるときは、まだ下値があるのではないか、まだ下がるのではないかと思うときは、もうこのへんが底かもしれないと思い返してみてはどうかというものだ。

自分だけの独善的な判断に対する戒めの言葉である。

世の中の空気は、往々にして「もう」一色になったり、「まだ」一色になったりする。昨今の日本では、GDP世界第二位の座から陥落、人口減少の本格化などと喧伝(けんでん)されると、日本もピークアウトした、もう後は下り坂だという気分がまん延する。しかし考えてみれば、今でもたった一億人余りの人口でGDP世界第三位を堅持している。世界の中で、輝きを持ったオンリーワンの国として生き抜く底力は十分に備えているはずだ。発想を変えて、まだまだという気持ちで眺め直してみる努力が今こそ大切だと思う。

話は変わるが、弊社の本店は、お江戸・日本橋の袂(たもと)にある。いささか旧聞に属すが、その日本橋が昨年架橋百周年を迎えた。今の日本橋は、二十代目で、1911年にできたものだ。西洋風の石造りであるが、江戸の情緒を残したいということで橋柱に刻まれている橋名は、徳川最後の将軍・慶喜公の揮毫(きごう)によるものである。昨年百周年の祝典が開かれた折、面白い表彰式が執り行われた。表彰の対象は、百年前の橋の建て替えに際し寄付を行った企業で、今も事業を営んでいる企業である。日本橋には、さすが老舗が多い。三井本社(現三井不動産)、三越、日本銀行などなど十数社が表彰の栄に浴した。祝典の後、表彰を受けた企業の社長さんに、「お宅はどうして寄付しなかったの?」と聞かれた。答えは、「まだ会社ができていなかったのです」である。

弊社は、今年創立87年である。そろそろ歴史を語りたくなる年ごろだが、老舗連なる日本橋にあっては、まだ社歴百年未満の企業にすぎない。まだまだ駆け出しだという気持ちで歩を進めて行きたいものである。

次回リレートーク:片野坂 真哉(全日本空輸 常務取締役執行役員)